

アバターロボットによる医師向け遠隔教育サービス

東京女子医科大学では海外の医科系大学と国際交流を実施しているが、新型コロナウイルス感染症により物理的な交流や対面授業が困難であるため、ドコモの5Gネットワークとavatarin社が提供するアバターロボット「newme」活用により、遠隔で臨場感の高い医療教育を行える環境を実現した。モバイルの特性と受講者が遠隔から自由にロボット操作可能な機能により、どこでも簡単に交流が可能である。今回の事例をベースに、将来的には教育、研究、遠隔手術支援での利用や、クラウドと組み合わせた臨床データとの連携など広く学術・研究機関への展開が期待できるものである。

システム構成イメージ

海外提携大学※



国際交流プログラムの代替手段として遠隔から実習参加、履修が可能



端末

Wi-Fi
または有線



モバイル
端末



アバターロボット
用クラウド



東京女子医大



newmeで臨場感高い遠隔医療実習の提供

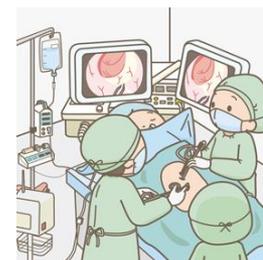


モバイル
端末

Wi-Fi



アバターロボット
newme※



実習場所

※海外提携大学などと接続し遠隔実習を実施。海外側の構成は接続先の環境により変更される可能性があります。

※newmeはavatarin株式会社が開発したバーチャル交流アバタープラットフォームの名称です。